

神奈川県演劇連盟機関誌

ドラマ神奈川

第6号

こんな劇場で公演しています

劇団河童座

プロセミアムからロールバッフル式の客席までの何も無い空間。どうにでも料理できる面白い空間です。舞台設備は多少難ありでも、それを越えた魅力ある空間です。25年間、横須賀演劇を支えて来た、手創り、自慢の空間です。



横須賀青少年会館



劇団夢樹



このホールは、私たち横須賀の演劇人の要望が、数々取り入れられて出来上がった、大変貴重なものです。このホールがあればこそ活発な活動が可能になっています。今年の秋も演劇フェスティバルに参加します。

劇団着い群



関内
小ホール

横浜小劇場



「交通の便はいいのですが、舞台の天井が低いこと、シーリングの当りが悪いこと、客席の半分が平らで観にくいこと、等が欠点です。ビルの地下の限られた空間にホールを押し始めたのだから、仕方のないことですが……。」

会社も役所も、円高・バブル崩壊の長期不況にあえぎ、演劇界もご他聞に漏れずという折り県が横須賀青少年会館の閉鎖提案をしたことは私達にとって致命的です。これからの方に、皆様のご支援をお願い申し上げます。

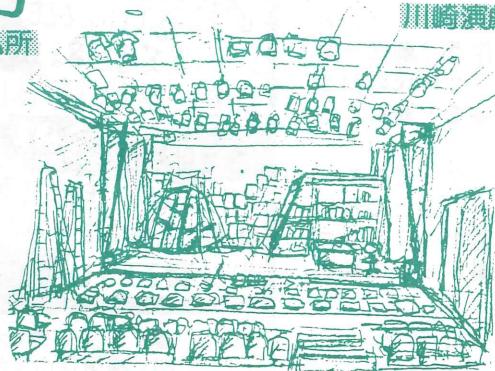
相鉄
本多劇場

劇団横浜じゅうくわ

キヤバ／ムードが、自分たちの表現スタイルに、ぴったりな劇場である。それに加え、本多のスタッフの姿勢が、より使い易さを、増す。一方、ワークショップをはじめとする情報発信の場としても、大切な位置にいる。



最初の小劇場スタイルの小屋として相鉄本多劇場が横浜に進出した時、これでやっと本格的な創造活動に取り組める、と感動するとともに、そのグレードの高さに不安感も抱いたものだ。初心忘れべからず。



遠い劇場の様な気がしていました。でも使ってみるともう駄目です。お客様も、演じる私達にも便利な小屋です。川崎だ横浜だとこだわる時代ではありません。本多劇場に行けばなにかやっているだろうと、当日売りのお客がいるのです。すっかりはまってしまいました。



「ドラマ神奈川」第6号

(編集・発行)

神奈川県演劇連盟

1996年3月10日発行

横浜市中区福富町

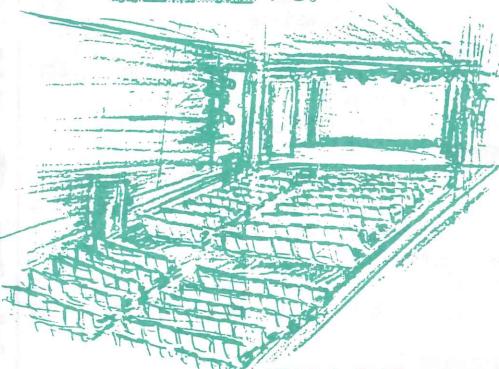
045(261)4866

西通り52



劇団葡萄座

当ホールは、関内ホールの地下に遠慮がちに存在するキャバ264席の多目的ホール。その造りは決して芝居小屋と言い難いが、この手のホールとしては袖が広く使い勝手が良い事から現在重要な拠点の一つになつてゐる。



内

小ホール

加盟劇団公演スケジュール

LA TERRA

3/3(日)3/24(日)3/31(日) いづれもPM1:30~PM4:
30 公開ワークショップ開催

横浜小劇場

3/16(土)PM2:30&PM7:00 17(日)PM2:00 関内小ホール 砂本量／作『レンタルファミリー』

川崎劇場

3/30(土)PM2:00&PM6:30 31(日)AM11:00&PM3:00
ミヒヤエル・エンデ『モモ』(かわさき演劇まつり)
京浜協同劇団、行動座合同公演 幸文化センター

劇団こゆるぎ座

5/11(日)新人劇場・野外劇『女郎花異聞』

作/五塔倫太郎 松原神社境内

劇団かに座

5/10(金)PM7:00 11(土)PM2:00&PM7:00 12(日)
PM2:00 相鉄本多劇場

古城十忍／作『ONとOFFのセレナーデ』

横浜喜劇座

5/18(土)PM2:00&PM7:00 19(日)PM2:00相鉄本多劇場 25(土)PM6:30 26(日)PM1:30横須賀青少年会館 作/横田和弘 演出/屋井智里

『終電車、出處へ…』

劇団麦の会

6/8(土)9(日)関内小ホール 脚本/山口雄大『蜂の巣』

京浜協同劇団

6/21(金)~30(日) 京浜協同劇団稽古場 木庭久美子／作 室野定子／演出『父が帰る家』

劇団横浜にゅうくりあ

6/24(月)~30(日) 野毛フ拉斯コ 実験劇場'96
『モノローグの可能性』

LA TERRA

寒い季節は
妙にHotなものに
敏感になるのです。



湘南ミュージカルシアター 80467-85-4313
253・茅ヶ崎市ひばりが丘1-10 前田方

かに座通信 (8)

現在、若手・新人中心での公演№72「ONとOFFのセレナーデ」の稽古中、作者は劇団一跡二跡の主宰者古城十忍氏で1994年2月同氏の演出により劇団一跡二跡が青山円形劇場で上演したものです。

対面して語り合うことが苦手となってきている現代若者達のなかで、一度も会ったことのないパソコン通信チャッター同士の友情がこのドラマのメインテーマです。巧?拙入り混ざっての舞台を是非どうぞ!!

劇団かに座 8045-311-5682
220・横浜市西区岡野町1-3-14 田辺方



劇団交流の広場



サ" X>ハ" - of 蒼い君羊(?)
ミン① 代老、才田次郎さん。
ヨコスカのあらゆる老若男女に「ジロ-
さん」と呼ばれています。一見優しげ。
でも会う機会が増えてくと、夜の真実の
姿が見えてくるのである。みちゃんだけが
大きめで、ダジキをしても、ボソッときやき
汗をとうに笑う。えぐもよくダマサレ…いや
つい率せられてしまう……。さあ!と云ふ貴子
次郎さんと一緒に見た目見らるのな、公演に来?

劇団蒼い君羊 80468-56-3157
238・横須賀市佐野町6-41 福本方

3月公演「レンタルファミリー」の合宿稽古を、あの大雪の日に”観音崎青少年の村”で行いました。外には粉雪が舞い、遠くから潮騒の音の聞こえるなかでの稽古はなかなかにロマンチックではありましたが芝居はシビアです。劇中のカラオケだけを深夜まで稽古?ということになったのですが、さて本番の出来はどうなりますやら。

横浜小劇場 8045-261-4866
231・横浜市中区福富町西通り52 横浜演劇研究所

見すじて
を語るべからず!!

川山奇のめなさん 横須賀のめなさん
相模原のめなさん 小田原のめなさん
茅ヶ崎の平生家・秦里子・座間・三浦・逗子・鎌倉
大和・海老名・厚木・足立・横浜・南足柄にあ住ま
るのみなさん、もちろん横浜市内の方、どうせない人を
妻の元居を見しめてください。

劇団麦の会 8045-241-2828
220・横浜市西区伊勢町1-61 高津方

京都の

「遊劇体」というと
シユーレン芝居を演る
劇団を、横須に説いました。

5月21日(火)、1日限りでお
相鉄本多劇場でやります。
劇団事ひげの次回公演は
ぜひ観て下さい。

10Aです!

劇団★派事務所 80468-27-1631
238・横須賀市大瀧町1-30 コ-仙王M4FA4

木庭作品第2弾！（前第52回公演「ともだち」）
どこかでよく聞く話、あなたの身に起こったら？
あなたならどうする？
木庭久美子作 第57回公演 演出 宮野 定子
制作 清谷やほ子

父が帰る家

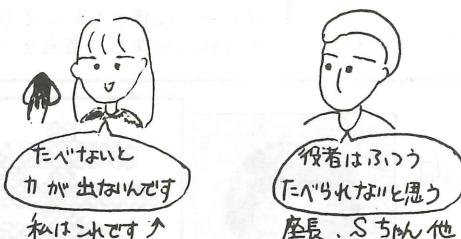
京浜協同劇団女優陣があなたを笑わせ、ホロリとさせます。

6月21日(金)～30日(日) 中休みあり、全10回上演
京浜協同劇団稽古場

京浜協同劇団 8044-511-4951
211・川崎市幸区古市場2-109

葡萄座の日常 6

本番前、食べる派？ 食べない派？



劇団葡萄座 8045-311-8208
220・横浜市西区宮ヶ谷2-2 メゾン横浜302 山本

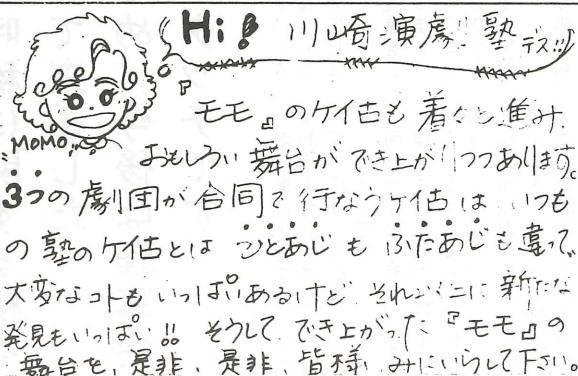
神奈川県文化振興小田原大会

2月17日(土) AM10:00～PM3:00

参加者（県文化連盟加入市町村
文化団体有志 300名）

才2部 芸術鑑賞の部にて
○劇団こゆるぎ座公演。
小山内豊作「息子」上演
他詩歌、仕舞、猪根郷土芸能など

劇団こゆるぎ座 80465-22-2988
250・小田原市本町2-2-20 梅月食堂内



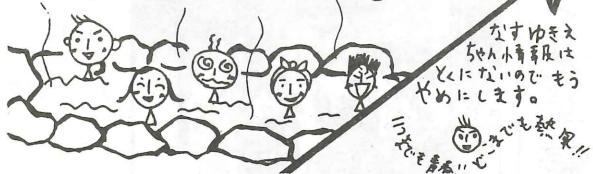
川崎演劇塾 8044-951-9819
214・川崎市多摩区寺尾台2-8-1-12-504 梅月

にゅうくりあ：湯河原へ

露天風呂に 行きました！

*混浴ではアリマセン。

*景色もキレイだし、ごはんはおいしいし、夜はみんなでトランポ大会をしました。
まんまとまんまと。*



劇団横浜にゅうくりあ 8045-321-1920
220・横浜市西区中央1-30-17

期待の新人蒼生樹入座の新人の名前は角田勝彦。通称ツバちゃん。現役の大学生でありながら、実家の仕事を手伝っている感じの若者。今流行のロン毛で、キムタク似。（後ろ姿）

そんなツバちゃんと、一緒に楽しい元気をつくるべきだと思っています。

劇団蒼生樹 8045-242-3584
220・横浜市西区伊勢町3-133-824 濱田方

河童 カッパラッタの大冒険！

次回5月公演は演出の大冒険だ。
若手(?)座員が初の演出に挑戦！

吉とてれるか凶とてれるか…

演目は7年前の再演「終電車、出でへじにまたま終電車に乗り合わせた男女二人。
実は選ばれ、7人目であった。終点過ぎても走り続ける電車。
さて、この電車の行方は…。

劇団河童座 80468-23-7443
〒238 横須賀市日の出町2-6

劇団 夢樹 (むじゅ)

10周年を迎ました。しかしです、たった一つの私達の劇場・青少年会館の閉鎖を県が決定しました。施設の存続と活動の保証を求めて運動を展開します。支援して下さい。

劇団夢樹 80468-66-4013
〒239 横須賀市大津町4-43 (☎0468-36-7494) 代表 吉本敏克

劇団蒼生樹

「忠臣蔵でござーる」

作・横山さとみ 演出・浜田重行
12月15日～17日 教育文化ホール



何よりも吉例歳忘れ興業の継続と横山さんの初戯曲挑戦に拍手を送りたい。蒼生樹ならではである。

長屋のおかみさんたちの井戸端会議から、スタートし、女性の視点から女性の葛藤と生き方を描く。装置

は物干しをモチーフとし、転換は役者たちの手により行なわれる。美術が、芝居作りの中で、裏側からでなく、側面からも支えている。特に、ラストの一体感は見事だ。この芝居の最中、渡辺さんと清水さんのシーンで、いつも拍手などした経験のない私が、つい手を叩いてしまい、「あー、演出にはまってしまった」と思う。観客をひきこむ魔術には勝てない。

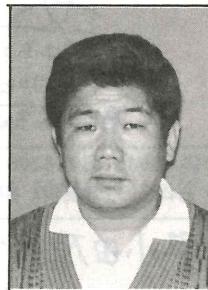
長屋の人たちの生活と今の自分の位置を再確認する作業をさせてくれる座標軸と根拠の固定がはつきりしている芝居だったと思う。しかし価値感がこれ程多様化している現代において、共通の像としての定着を求めていくだけでなく、いちファンとしては、今後、視点の方向を変えてみる試みも期待したい。

(担当・横濱にゆうくりあ)

アマチュアイズムは 胸の奥に

劇団河童座

横田和弘



河童庫

「タイプカプセル・一本国物語」

作・演出／横田和弘

12月2日・3日 横須賀青少年会館

1月13日・14日 銀座小劇場



面白い構成だ。騒ぎで作動したシェルターは地下に埋められ一定の期間は地上に出ることは出来ない。乗り遡らせた設計化学者と秘書、シェルターの宣伝ガイド、女優願望の女、ガリ勉の青年、おのぼりさんの娘、そして銀行強盗と追う警察官。彼らはシャバに帰れないことが判ると、どうせなら楽しく暮らそうとシェル

「客が来なくて続けられなくなつた
ら、たためばいい。犯罪にはならな
い。自由だ。せつかく誇り高きアマ
チュア張つてゐるんだから。
ただし自由贅沢なアマチュアだか
らこそ、それを商売として食べていい
かねばならないプロより、いい芝居
を打たねばならない。プロには出来
ない芝居を。志ひとつを友として」
つい先日、ある芝居仲間からもら
った、手紙の一部です。同感です。
私にとつてのアマチュアイズムとは
つまり、こういうことです。職業と
して芝居を考えたことはありません
ですから、もしそういう意味で聞か
れれば、アマチュアと答えるのかも
知りません。

でも、観客はプロとかアマとかを提示されれば、クオリティーの問題題と捉えるのが、実状です。芝居の終わった後のアンケートに、「とてもアマチュアとは思えない」とか「プロよりも面白い」と書かれると、勿論ほめ言葉と解っていても、情けない気分になります。アマの上がプロと思うのが実状なのです。

責任などのために芝居をやるんだから、やめてしまえばいい。我々は創造すること、笑わせること、泣かせること、感動させることができたら芝居を演り、観て感動したい、観客がいる。そこに文化が生まれる……。

私にとつてのアマチュアイズムのなかには、地域とか文化という意識はそれほどありません。それはあくまで結果だと思っているからです。どうやら、アマチュアという意味での捉え方で、それぞれに想いが変わってくるようです。私にとつてのアマチュアイズムは、胸の奥にしまつておくこと……それでいいと想つています。

でも、声を大にしてアマチュアを宣言する気はありません。もともと、誰に対しても宣言するのでしょうか。ちょっと妙な話です。

もし芝居仲間にいまさら宣言をしたらば、笑われそうな気がします。芝居を演っている人間なら、プロとアマの区別をすることの難しさとしさは、よく知っているはずですか。

もし、観客に向かって言うのならら。

我々劇団河童座は、プロ予備軍ではありません。でなければ、こんなに夢中になつて芝居を続けては来なかつたはずです。

「アマチュア」呼称に関する様々
考えを特集してきました。
いよいよ大づめ！今後は理事会
の場へバトンタッチです。

ターを一本国と命名し、各大臣を自薦他薦、とにかくにぎやかに生活を、始める。しかし、この空間に男女の男女の欲望はない。

そこにシェルターを寝ぐらにしていた一匹のカブト虫の親玉とゴキブリの若夫婦が脇役として登場する。たわいもないおしゃべりばかりであるが、それが最も人間臭い。ゴキブリは繁殖に歳月をかけている。これはアリアリティがある。やっと地上に浮上したシェルターでは、あれほど社場に憧れていた一本国人間は、今度は自分たちの意志でもう一度地下にシェルターを閉じ込めて了うのである。素材の違う二つ場面を同時に見せられると、やはり観客はアリアリティのある場面に視点が向く。横浜、横須賀、東京と連続上演を成功させ、実験を恐れない河童座の舞台はエネルギーに溢れていた。

(担当・川崎演劇塾)

京浜協同劇団

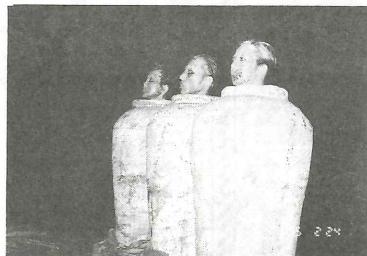
新人自主企画公演

「芝居」

作 サミュエル・ベケット

演出 ミズノ タケジ

2月24日 劇団稽古場



京浜協同劇団新人自主企画公演、ベケットの『芝居』を観る。——新人自主企画公演…ん?面白い言いまわしだ。直訳すると、新人達が勝手にやった公演…ということか!? 何んだか親劇団(こんな言い方が成立

するかどうかわからないが)から認知されていない公演みたいだが…会場は劇団稽古場だし、ベテラン達も多く見守っていたし——ともかく、色々模索中ってことなんだろう。当方は単なる観客。ベケットだし、素朴に観ようっと。

実際、ベケットは素朴に観るに限る。存在自体の不条理、作品としての不条理、俳優の肉体論としての不条理と、重複するテーマの何處にスポットをあてるのかどうか。で、今回の『芝居』は、死しても尚、際限もなくくり返される男女の三角関係という点が良く表現されていたということから、存在自体の不条理ということか!?! もつれた男女の関係性の中に解答が潜むということだろう。尤も私としては、俳優の肉体論の不条理という観点のベケットを見たかったのだが――。

(担当 劇★派事ム所)

ghether
ア演劇とは
その3



投稿

劇団東演
津田英三

錯覚されている方もいらっしゃると思いますので書いておきますが、我々プロと呼ばれる演劇人の大半が正當な報酬を得て演劇行為をしていきます。なぜなら、その仕事の報酬をばれる演劇人は、他の仕事の報酬を元手に日常生活と演劇活動を維持しているのです。その仕事がマスメディアであるか居酒屋であるかは、演技一本を上演すればその稽古期間も含めて、約二ヶ月無収入状態になります。私もしばしばです。わずかな出演料も交通費とお茶代に毛の生えた程度で、お客様と一杯やれば足が出てしまします。なんだそれじゃアマジやないかと言われば「そうです。アマです。しかしながらプロと呼ばれています。企業とのタイアップ、マスコミ出演のマネージメント料の振り分け等、劇団によって違いはあるが純粋な演劇公演の収支だけ

と、思いますが、これが問題です。もどんな演劇人であるかが問題であります。そこには演劇に対する認識が大きく関わってくるような気がします。まず構造面でいえば絵画などは創造過程は見せず結果を見せる訳ですが、演劇は本番で創造過程を見せ、そしてそれが結果でもあります。ライブとは皆そうですが、音楽に於けるCD制作のようになります。そこで、これが結果でもあります。それが結果でもあります。ならば外枠でプロかアマかを論じるよりもどんな演劇人であるかが問題であります。そこには演劇に対する認識が大きく関わってくるような気がします。まず構造面でいえば絵画などは創造過程は見せず結果を見せる訳ですが、演劇は本番で創造過程を見せ、そしてそれが結果でもあります。ライブとは皆そうですが、音楽に於けるCD制作のようになります。そこで、これが結果でもあります。それが結果でもあります。それは自分がどう生きるか、どこまでやるかは、自分

略歴
劇団東演に25年間在籍、「朝未来」「どん底」「栄光の季節」等に出演。他に「出張」「イカロス」、「埼玉総合芸術祭」等の演出を行なった一方、声優として日々の生活をしています。

の身体を使って、人間を表出する、唯一の創造文化であるということが言えると思います。昨今、コンピューターやインターネット等の発達で、増々人と人が接することなく生活が営まれてゆく社会の中で、俳優同士も、俳優とお客様も、相対しなければ成りしない演劇は、とても人間的にアリヤする為にはチケット一枚の料金を最底一万円ぐらいにしなければなりません。詳細は省きますがそれをクリアする為にはチケット一枚の料金を最底一万円ぐらいにしなければなりません。現実で、それでも一般社員並の生活にはほど遠いものであります。しかしながらアマと呼ばれます。企業とのタイアップ、マスコミ出演のマネージメント料の振り分け等、劇団によって違いはあるが純粋な演劇公演の収支だけ

が営まれてゆく社会の中で、俳優同士も、俳優とお客様も、相対しなければ成りしない演劇は、とても人間的にアリヤする為にはチケット一枚の料金を最底一万円ぐらいにしなければなりません。現実で、それでも一般社員並の生活にはほど遠いものであります。しかしながらアマと呼ばれます。企業とのタイアップ、マスコミ出演のマネージメント料の振り分け等、劇団によって違いはあるが純粋な演劇公演の収支だけ



日頃思うこと

(社)横浜演劇研究所
研究調査部長

荒井 賢一

私たちの研究調査部では創立以来、活動の一つとしてアンケートによる観客調査を行っています。中斷はありますが連錦として続けてきた作業で、今は横浜アマチュア演劇連盟加盟5劇団の公演についての調査を行っています。調査用紙の作成、公演各ステージ毎の調査員の配置、用紙の配布・回収・集計、そして調査結果の機関紙「よこはま演劇」への発表と、大変なエネルギーを必要とする作業です。研究所員は小劇場の芝居創りとともにこの作業にも関わっています。調査から得られたデータは、横浜の文化状況を記録して未来へ役立たせる貴重な意義をもつものだと考えます。累積した調査原票や集計原票などの資料は膨大な量に上り、資料室はパンク。やむを得ず栃木県上三川町在住の所員(OB)にお願いして倉庫に保管してもらっています。その資料はかけがえのないものです。できることなら公的な演劇センターの資料室に、安住の地を見つけられないものかと思っています。



前略、スモモ様

劇団麦の会

岡本みゆき

川崎演劇まつり「モモ」の稽古を見学に行つた。見ているうちに何やら懐かしい気持ちが沸いてきた。「十一人の少年」を思い出したのだ。知る人ぞ知る「10+5」という劇団をつくり、「モモ」を下敷きにした北村想のこの作品で、私はスモモ役をやつたのだ。当時とても盛り上がって、「10年後に同じメンバーでまたやりたいね」などと言つていたが、メンバーの何人が私にとって行方不明になってしまった。

あれからいろんなことがあったが、今はこうして妻で芝居を続いている。途中で芝居を投げながつた自分は偉いと思うが、果たしてあの頃の芝居に対するドキドキワクワクした気持ちは今でもあるのか、疑問だ。公演が終わるとすぐ台詞を忘れる私が、珍しく思い出した『あ、星だ。小せえ星が出ただす。』というスモモの台詞。私の小せえ星は、私にちゃんと見えているのだろうか。私は、スモモをまだ演れるのだろうか。

県演連の コーナー

リポート
劇団かに座
田辺晴通



化ゾーンの新構想が発表されていることについての県演連としての行動、フォーラム、相互観劇などの連帯意識化について協議している。

■交流会の報告

田辺「飯田さん、交流会の締切り今日だけ何枚来てます」、飯田「まだ〇枚だけ、明日一日待って連絡してみるよ」～数日後～飯田・田辺「まだ〇枚(団体④)だけど、この人数は集まるんじゃないかな、ヨシそれで申し込もう」と、人数が毎回不確定でハラハラしています。当日のプラスばは大歓迎ですが、もし申し込み人数分の会費が集まらなかったときは誰かが負担しなければならないからで、劇団側の事情もあると思いますが事務局の立場に立って御協力をお願いいたします。

サテ交流会、大いに飲む人語る人、どんどんお銚子運ぶ人、も含めて新年交流会は大いに盛りあがったと思っています。今回は特に劇団同士の隣り合わせを禁止?したので、最初は少々固くなかった人もいたようですが立場立場で話しがはずんだようでした。

この交流会がほんとうの交流の場となるのはまだ先のこととは思いますが、芝居の客席などで顔が合ったとき、例えひと言でも話しができるのもこの場があつたなればこそだと思いますので、一人ボツーンとした人(或いはヒト休み)も積極的に話しの輪に入り、未参加の人もどんどん参加して頂き肌で感じて頂きたいと思っています。

ただ現在の会場は海鮮料理の店なので、サシミなどナマモノのダメな人はお酒の量でカンペーンして下さい。

最後に、この交流会が早く川崎・横須賀などでもできるようになればと――。
(小田原での一泊素敵じゃないですか。)

■理事会の報告

当県演連の活性化に伴い、各団体の理事が定期的に会合を持ち、私どもが、「これから為すべきこと」を協議していることはあまり知られていないようです。各団体の稽古日等のことから全員出席は難しいところですが、その内容はみんなが知つておいて頂きたいことばかりです。その主概要を報告します。

1) 県立青少年会館の廃止、公共ホールの自主事業の増加・市行事優先等のことで、年々上演場所の確保が難しくなってきており、この対応策(アマチュア演劇等の為にという建設当初の目的がどこかにフットンデシマつたホールもある)。

2) 県の我々への予算が毎年削減(県芸術財団へは「億」の金が交付されているのに)、されている現状のなかで、演劇フェスティバルをどのようにしていくべきか(理事会では期間を定めたなかの公演は全てフェスティバル参加にしようとしている)

3) 予算削減の防止には繰り返しの増額陳情の提出が重要であり、これの文面の検討と陳情(県文化室で言う合同公演にはどの位の費用が必要かの予算書も提出する)。

4) (県演連の体质強化を図るために、未加入団体(継続的に活動している団体)への加入呼びかけをどのようにしてゆくか)。

このほか、青少年センター等紅ヶ丘文

編集後記

「神奈川県演劇連盟」と書くと、何かともグレードのある組織のように思えます。加盟劇団数14というものは多いのか少ないのか!?——ともあれ、これから活動が〈名と実〉を作つて行くのだと思います。〈祭〉

日々の疲れの渦の中に、コーヒー1杯分の優しさをそそぐことでくれる芝居よりも、したたかなウソの世界を誠実に表現する空間を好む私は、まるで、失恋時に中島みゆきを聴きあさるOLみたいで。なに言ってるかわかんねエーよ。はい。

〈泉〉

次号は、新しい編集スタッフと共同で作ります。どんな方がやって下さるのか、とても楽しみです。「ドラマ神奈川」、評判も上々のようですので、自信を持って取り組んで下さい。

交替される編集スタッフの方々ご苦労さまでした。

投稿大歓迎!

